



ちょっと遅くなりましたが
12月号です。
(裏面、発表会PR)



第2回課題研究校内発表会 兼、理数科合同発表会ステージ発表選考会 (平成27年度第2回SSH運営指導委員会)



糸電話(物理)

物理	3テーマ	糸電話の物理的性質についての研究
		回転台を用いた液体の粘度の測定
		水中における2球の落下運動
化学	4テーマ	アルミホイルを用いた電磁誘導式床発電装置の開発
		発光バクテリアの発光制御
		炎色反応の発光順序に関する評価方法の検討
		色素増感太陽光電池の色素と補色による発電量の関係
生物	1テーマ	倉敷天城高等学校周辺における野鳥の棲息状況についてのラインセンサス法による調査
数学	1テーマ	中高生の家庭と学校における自我状態の違いについて



液体の粘度(物理)



落下運動(物理)



発電装置(化学)



発光制御(化学)



炎色反応(化学)



色素増感電池(化学)



野鳥調査(生物)



自我状態(数学)

— 研究発表テーマ一覧(全9テーマ) —

12月2日(木)、本年度の第2回SSH運営指導委員会に合わせ、2年生の第2回課題研究発表会が行われた。本発表会は、2月に行われる理数科合同発表会におけるステージ発表2グループを選出する選考会としても位置づけられており、どのグループも緊張した面持ちで発表に臨んだ。また、SSH運営指導委員会における成果発表として実施され、SSH運営指導委員をはじめ、県内各校から多数の先生方に発表内容を審査していただいた。各発表に対して厳しい質問や意見が与えられたが、丁寧な応答を行った。

合同発表会ステージ発表は、生徒相互評価や課題研究担当教員評価も合わせ、以下の2テーマに決定した。

「発光バクテリアの発光制御」(化学)

「倉敷天城高等学校周辺における野鳥の棲息状況についてのラインセンサス法による調査」(生物)

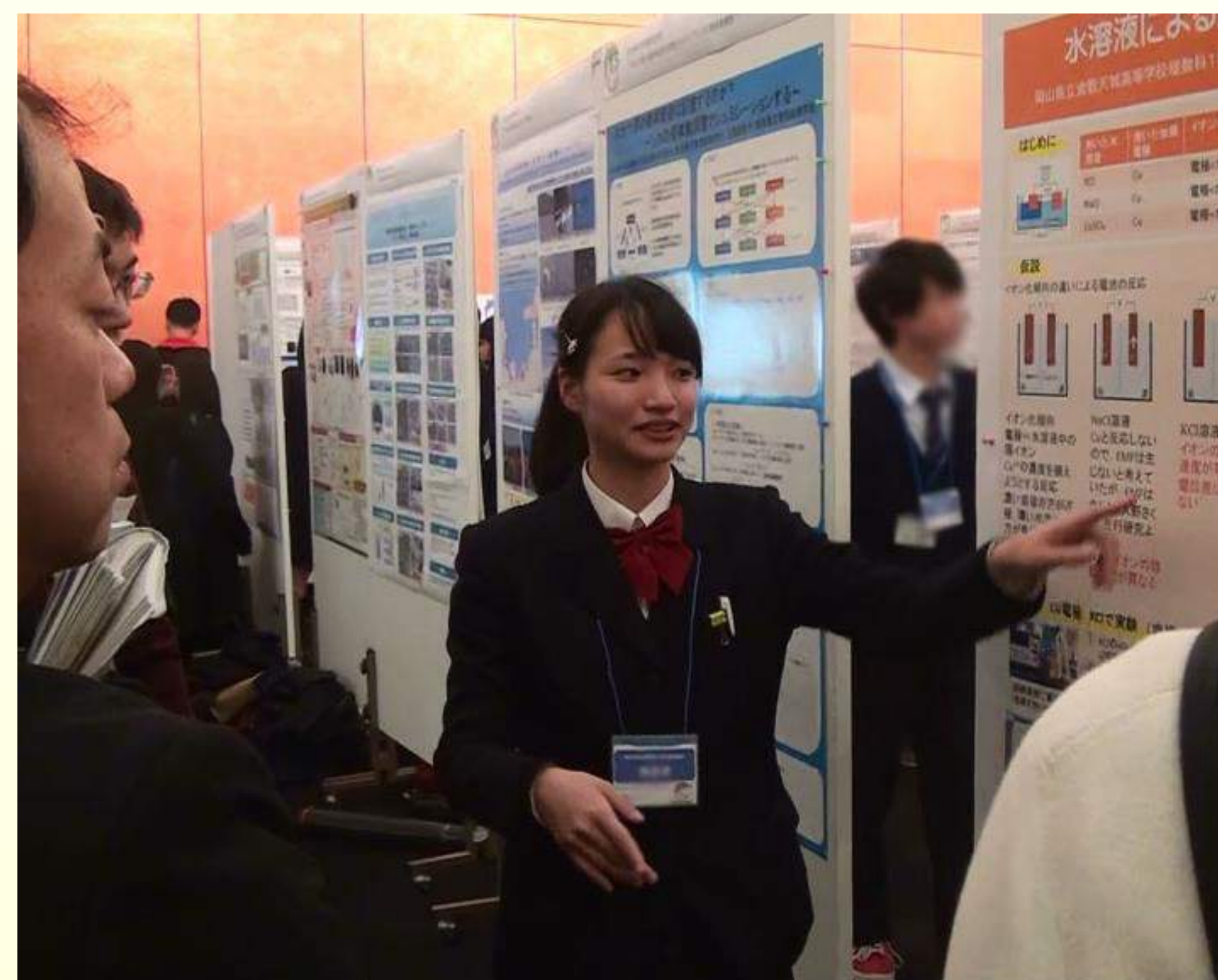
小中高生の探究活動発表大会 ～新しい世界への扉～

京都大学



参加者全員で記念撮影

12月26日(土)、京都大学において探究活動の発表会(京都大学総合博物館主催)が行われた。本校からも、高校生1名、中学生19名が参加し、課題研究の成果を発表、活発なポスターセッションを行った。また、発表を通して、他校との交流や研究者からの指導を受けるなど有意義な時間となった。



高校1年生「濃淡電池」(化学)の発表場面

文部科学省スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定

平成27年度岡山県立倉敷天城高等学校



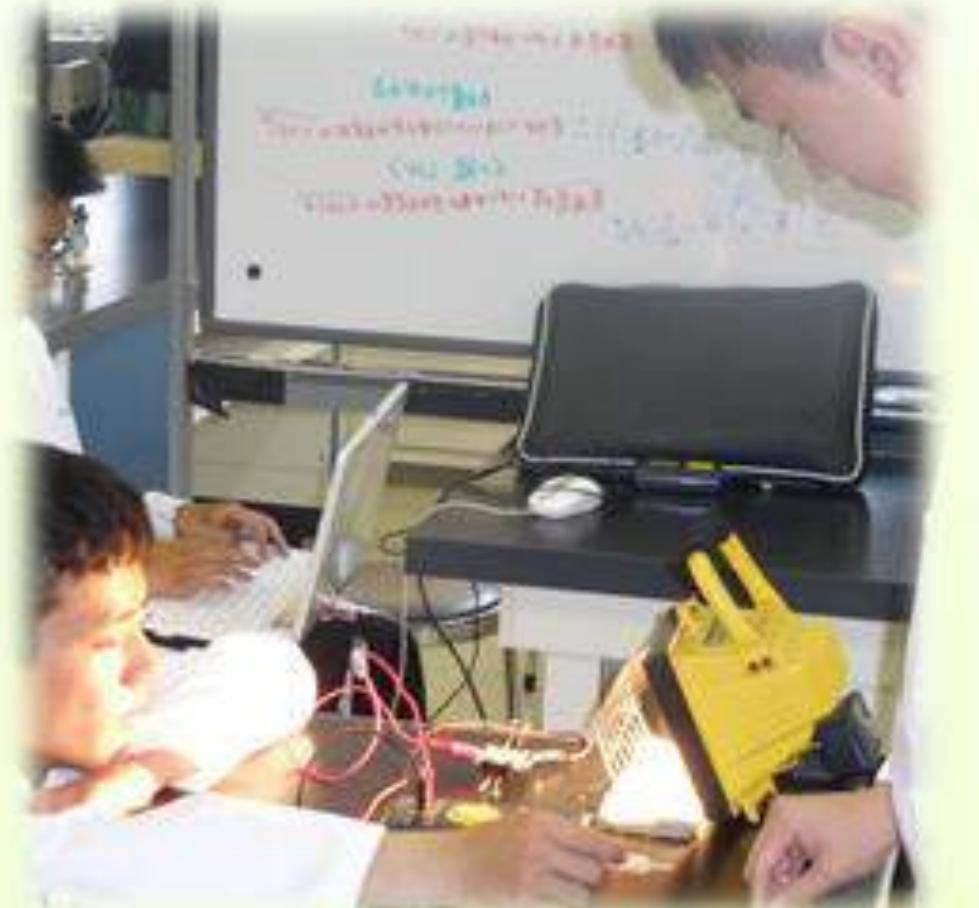
理数科



～ 英知と創造を未来へ～

課題研究

2年R組



成果発表会

発表会



平成28年1月27日(水)サイエンス館2F

<プログラム>

- 12:55 開会
- 13:05～13:40 口頭発表(4グループ)
- 13:50～14:20 ポスター発表(全グループ)
- 前半:奇数番(15分) 後半:偶数番(15分)
- 14:30～ 講評
- 14:45～15:30 理数科交流会
- 15:30 閉会

- ①(物理) 水中における2球の落下運動
- ②(化学) 発光バクテリアの発光制御
- ③(生物) 倉敷天城高等学校周辺における野鳥の棲息状況についてのラインセンサス法による調査
- ④(数学) 中高生の家庭と学校における自我状態の違いについて

- ①(物理) 糸電話の物理的性質についての研究
- ②(物理) 回転台を用いた液体の粘度の測定
- ③(物理) 水中における2球の落下運動
- ④(物理) アルミホイルを使った電磁誘導型床発電装置
- ⑤(化学) 発光バクテリアの発光制御
- ⑥(化学) 炎色反応の発光順序に関する評価方法の検討
- ⑦(化学) 色素増感電池の色素と補色による発電量の関係
- ⑧(生物) 倉敷天城高等学校周辺における野鳥の棲息状況についてのラインセンサス法による調査
- ⑨(数学) 中高生の家庭と学校における自我状態の違いについて

○理数科1年生全員と3年生数名も参加。

○中学生3組もポスター発表に参加。

